



曙草帋 九归士

へ13
3049
3

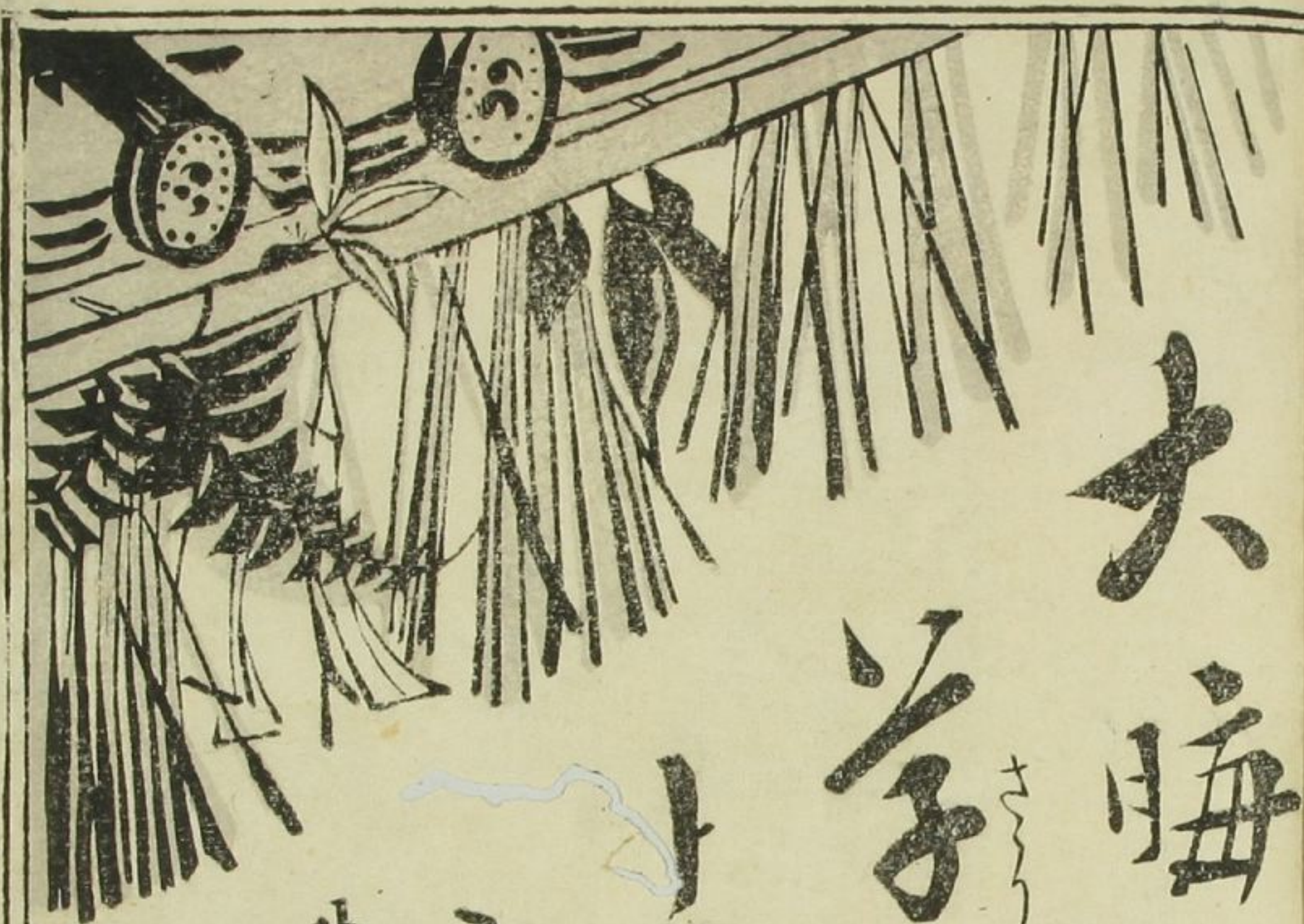


十
五
十
五
十
五
十
五
十
五



十
五
十
五
十
五
十
五
十
五

特
13
3049
3



大晦日暗

字第九編

上の巻

京山作
豊國画

弘化三年春刻



豊國

京山作
豊國画



下

篤吉板



大晦日曙草紙編九



弘化三丙午初春新板

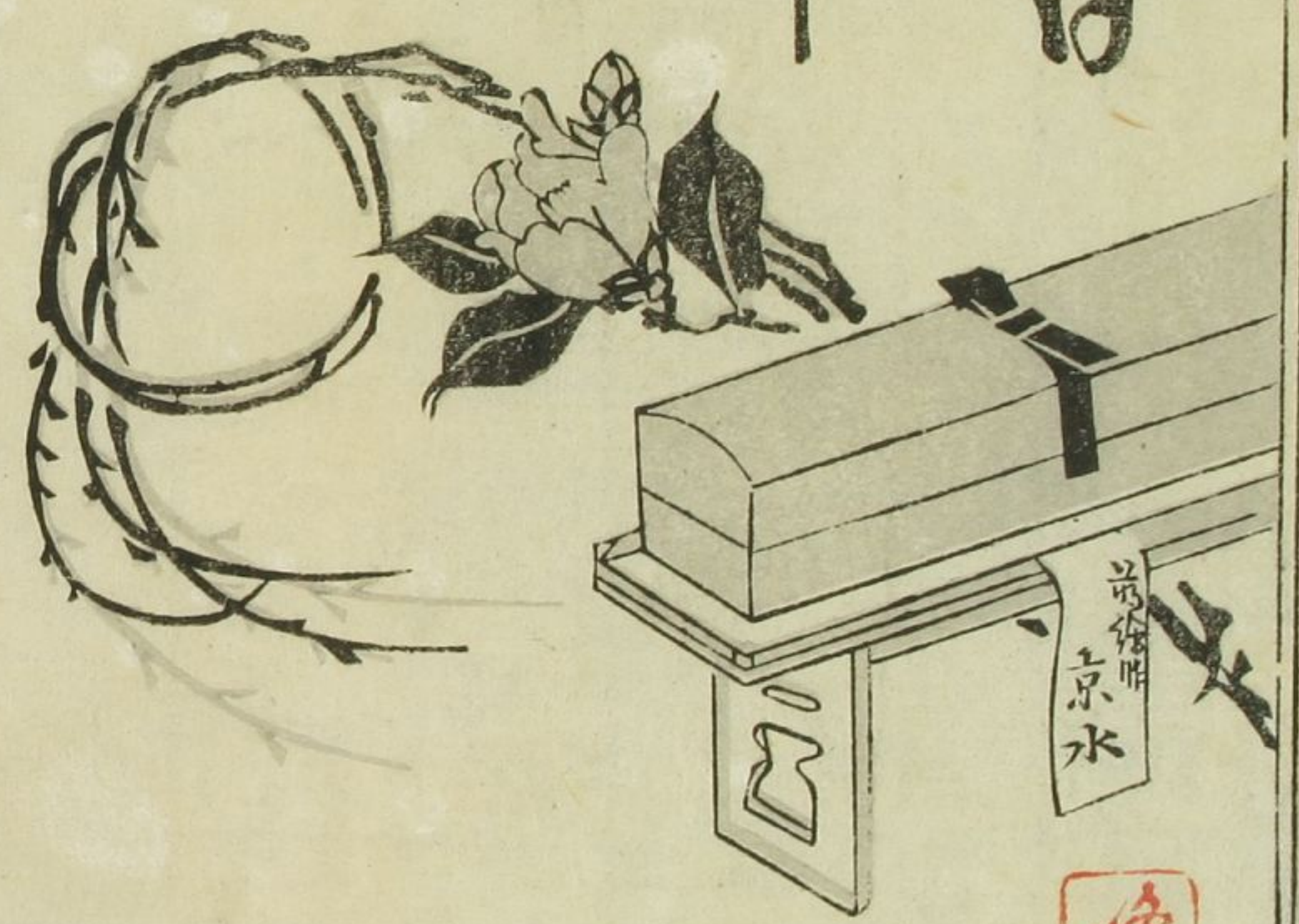
大晦日曙草紙九編上



右あゝの坂へ五十丁
左あゝの坂へ十二町

大晦日九編

大晦日
九編下
京山作
豊国画



峰女



関所

オの
ホと成
ワきと
をて
人を
の
まき

入申あつたては吉の
大なるるりけり

かぢやのうまじ
うらやうな
あぢやのうまじ
りきた

あぢや
かぢや

かぢやのうまじ
うらやうな
あぢやのうまじ
りきた



大晦日の

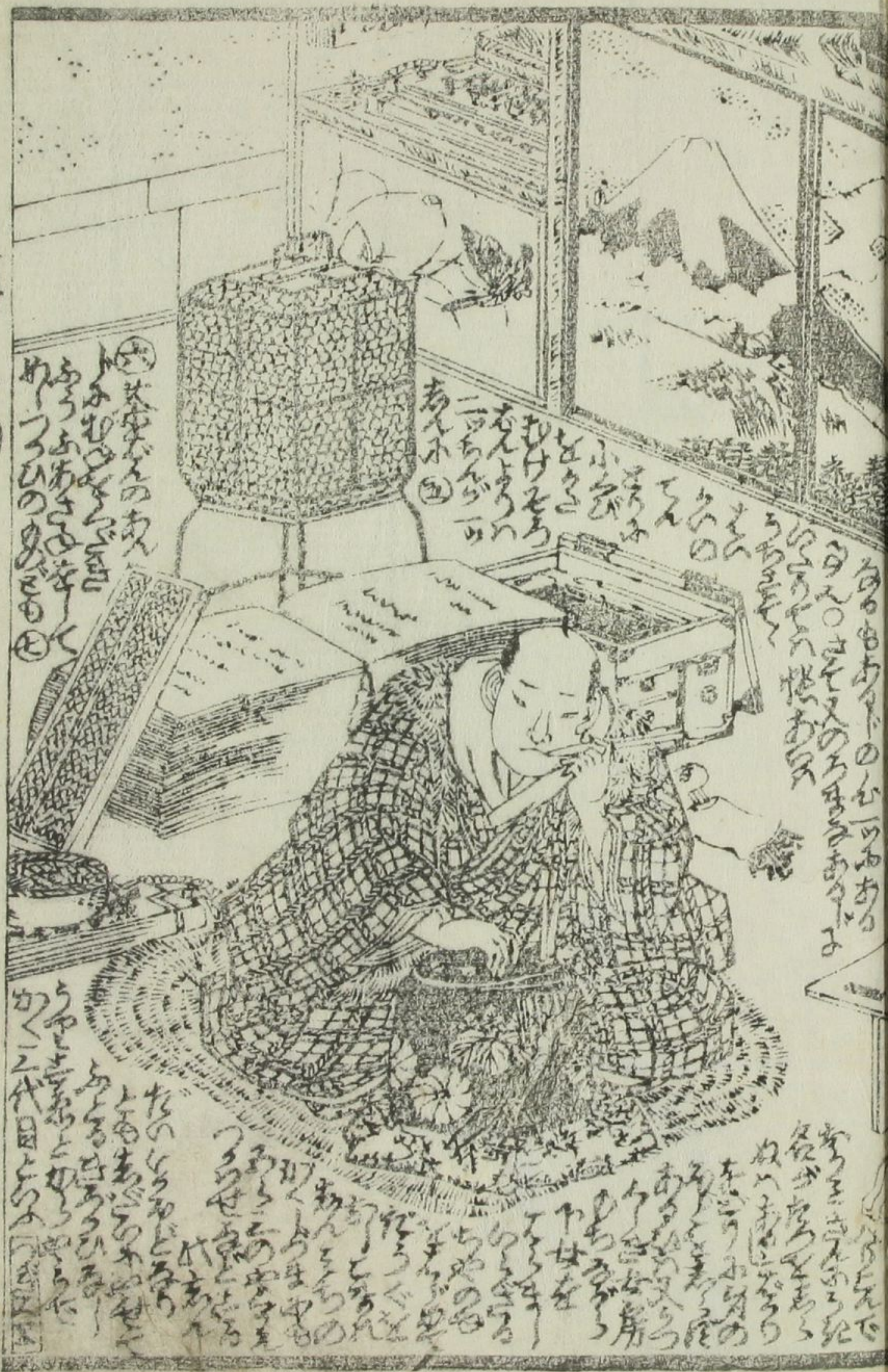
大晦日の

大晦日の
あぢや
かぢや

あぢやのうまじ

あぢやのうまじ
うらやうな
あぢやのうまじ
りきた

あぢやのうまじ
うらやうな
あぢやのうまじ
りきた

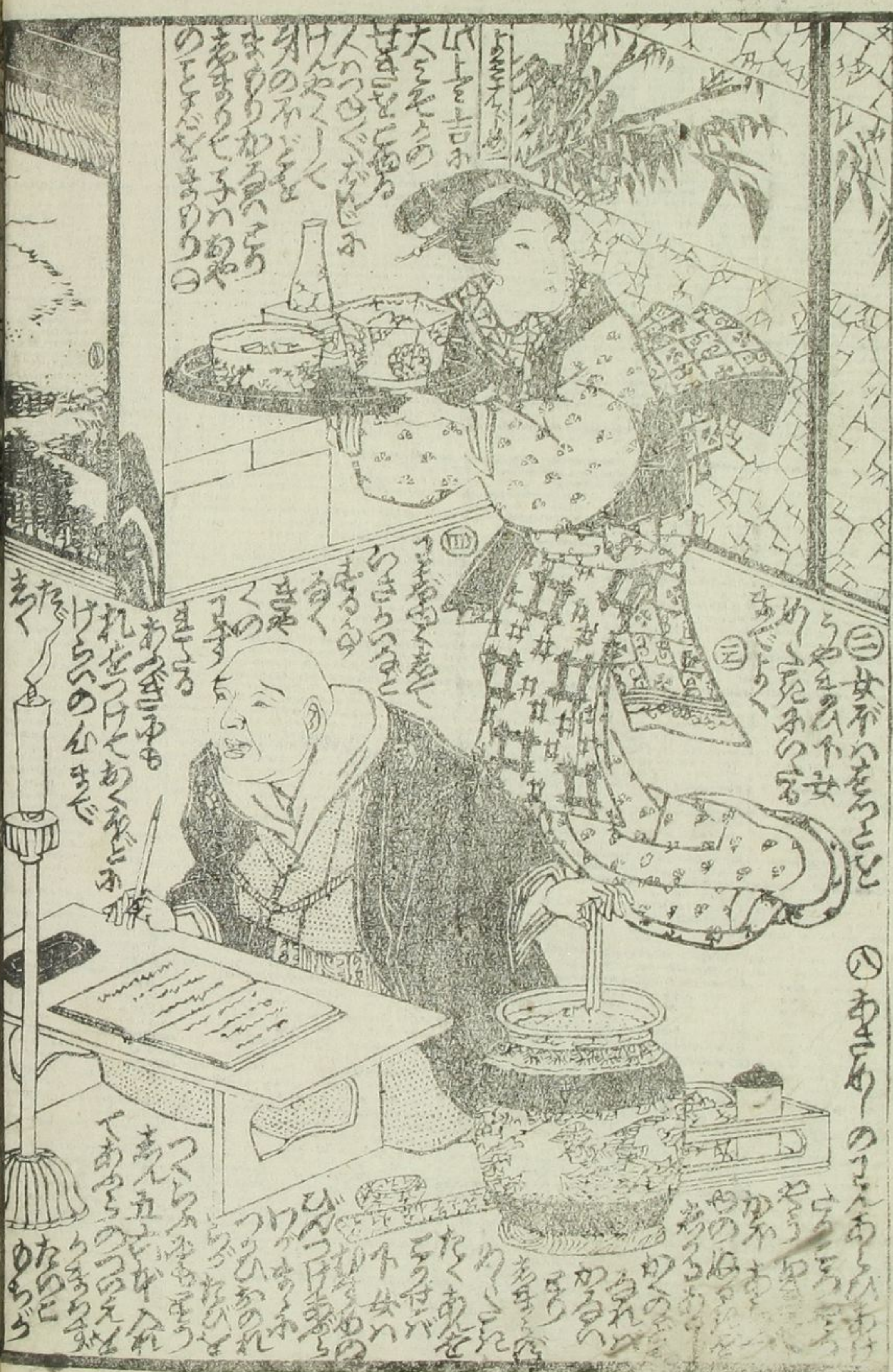


① 茶室のあ
らうあつひの
ゆつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ
あつひのあつひ

かくて代目と
あつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ
あつひのあつひ



あつひのあつひ
あつひのあつひ
あつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ
あつひのあつひ

あつひのあつひ
あつひのあつひ
あつひのあつひ

△あひくねねむさこのかろをあらひ
 ぐあひをたのむのづきん竹つえ
 つきてあやの目のからくさ
 小さうなふあやうつこをせ
 らせてうちんさけさせをきかせ
 八へえり母ゆていなる物川の
 さいもあやをりいかりこ
 のんきよさんであらん
 八へえりさんのおもふ
 きけおんしの母さん
 あやうさあのものなる
 るらんワウガせうも
 るくぬあをそのきんと
 八へえりさん
 るりかうくがあてをよの
 八の田ふかりつ同も
 さきんておきつりり
 たくあふすなるを
 あうとこるなるを
 だうとこるなるを
 うわ川あやうさの
 ちうてまそのおま
 ●あやうさの
 ませぬりあやうさ
 ああふあひを
 あけませうぞんま



あひくねねむさこのかろをあらひ
 ぐあひをたのむのづきん竹つえ
 つきてあやの目のからくさ
 小さうなふあやうつこをせ
 らせてうちんさけさせをきかせ
 八へえり母ゆていなる物川の
 さいもあやをりいかりこ
 のんきよさんであらん
 八へえりさんのおもふ
 きけおんしの母さん
 あやうさあのものなる
 るらんワウガせうも
 るくぬあをそのきんと
 八へえりさん
 るりかうくがあてをよの
 八の田ふかりつ同も
 さきんておきつりり
 たくあふすなるを
 あうとこるなるを
 だうとこるなるを
 うわ川あやうさの
 ちうてまそのおま
 ●あやうさの
 ませぬりあやうさ
 ああふあひを
 あけませうぞんま

二...
 けあつて
 今でいふ
 たうとこ用
 あうとこ
 八へえり母
 けあつて
 今でいふ
 たうとこ用
 あうとこ

二

あひくねねむさこのかろをあらひ
 ぐあひをたのむのづきん竹つえ
 つきてあやの目のからくさ
 小さうなふあやうつこをせ
 らせてうちんさけさせをきかせ
 八へえり母ゆていなる物川の
 さいもあやをりいかりこ
 のんきよさんであらん
 八へえりさんのおもふ
 きけおんしの母さん
 あやうさあのものなる
 るらんワウガせうも
 るくぬあをそのきんと
 八へえりさん
 るりかうくがあてをよの
 八の田ふかりつ同も
 さきんておきつりり
 たくあふすなるを
 あうとこるなるを
 だうとこるなるを
 うわ川あやうさの
 ちうてまそのおま
 ●あやうさの
 ませぬりあやうさ
 ああふあひを
 あけませうぞんま



あひくねねむさこのかろをあらひ
 ぐあひをたのむのづきん竹つえ
 つきてあやの目のからくさ
 小さうなふあやうつこをせ
 らせてうちんさけさせをきかせ
 八へえり母ゆていなる物川の
 さいもあやをりいかりこ
 のんきよさんであらん
 八へえりさんのおもふ
 きけおんしの母さん
 あやうさあのものなる
 るらんワウガせうも
 るくぬあをそのきんと
 八へえりさん
 るりかうくがあてをよの
 八の田ふかりつ同も
 さきんておきつりり
 たくあふすなるを
 あうとこるなるを
 だうとこるなるを
 うわ川あやうさの
 ちうてまそのおま
 ●あやうさの
 ませぬりあやうさ
 ああふあひを
 あけませうぞんま

五...
 けあつて
 今でいふ
 たうとこ用
 あうとこ

夏橋とはあるにせよ人の口から口へつたであらう

ついでにせよ

おかしきこと

ついでにせよ

ついでにせよ

ついでにせよ

ついでにせよ

ついでにせよ

ついでにせよ

ついでにせよ

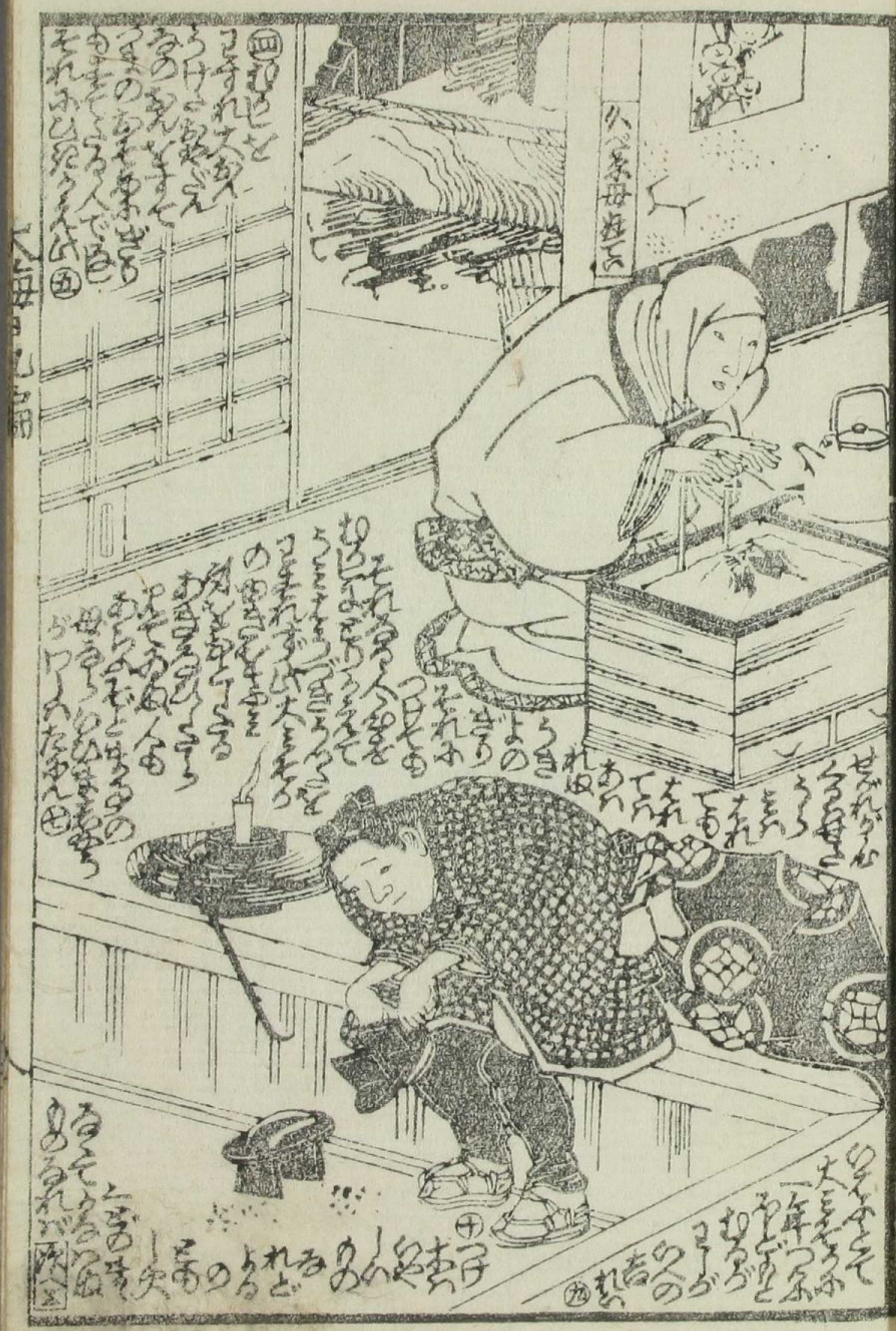
ついでにせよ



これいささか
とあて下され
うぬおんぎんは
きくものおぼろぎんす
きくものおぼろぎんす



夏橋とはあるにせよ
ついでにせよ
おかしきこと
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ
ついでにせよ





五人の女のあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ
あつてもさうせんりのあつてもさうせんりのあ



① 三つのおのり
② ちんちんおのり
③ ちんちんおのり
④ ちんちんおのり
⑤ ちんちんおのり
⑥ ちんちんおのり
⑦ ちんちんおのり
⑧ ちんちんおのり
⑨ ちんちんおのり
⑩ ちんちんおのり

ついで人のてん
きつるの仙舟のり十三味
業あらひとまゝにきつる
一廿百二十六廿廿一
ついでを白く



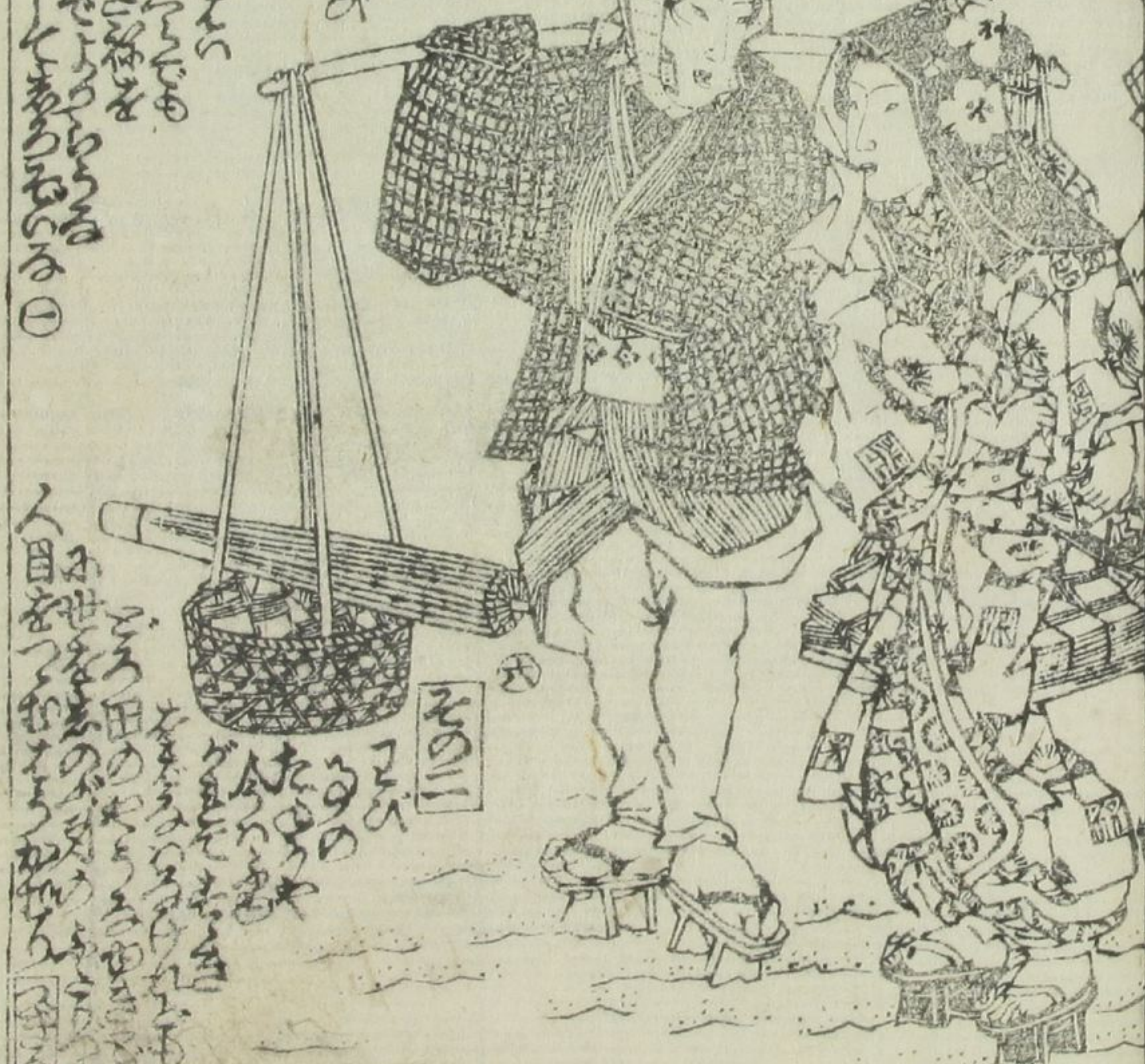
① 四 ちやんらんらんらん
さんどあはきとそんらんらん
ついでのちのちのちのちのち
てんのちのちのちのちのち
ひやうちのちのちのちのち

② ちやんらんらんらん
さんどあはきとそんらんらん
ついでのちのちのちのちのち
てんのちのちのちのちのち
ひやうちのちのちのちのち

③

● ちやんらんらんらん
さんどあはきとそんらんらん
ついでのちのちのちのちのち
てんのちのちのちのちのち
ひやうちのちのちのちのち

● ちやんらんらんらん
さんどあはきとそんらんらん
ついでのちのちのちのちのち
てんのちのちのちのちのち
ひやうちのちのちのちのち



④ ちやんらんらんらん
さんどあはきとそんらんらん
ついでのちのちのちのちのち
てんのちのちのちのちのち
ひやうちのちのちのちのち

大晦日あけがらの
 豊國画
 大晦日あけがらの
 ざし九へん上り



大晦日あけがらの
 ざし九へん上り
 大晦日あけがらの
 ざし九へん上り



第四段
 大晦日あけがらの
 ざし九へん上り



大いへる
大いへる

いへるさあま
あまとのいへるさあま
たのいへるさあま
いへるさあま
いへるさあま
いへるさあま

いへるさあま
あまとのいへるさあま
たのいへるさあま
いへるさあま
いへるさあま
いへるさあま



いへるさあま
あまとのいへるさあま
たのいへるさあま
いへるさあま
いへるさあま
いへるさあま

いへるさあま
あまとのいへるさあま
たのいへるさあま
いへるさあま
いへるさあま
いへるさあま

大いへる

大いへる

大いへる

大正十二年八月

大守 こと久々おのれごうしろふあつた大のその
梅川にやむくぶおのれひあつた

さうしうつめくうめ川のかあを
そおけめてめんがくさ
ふまふかねんさのあけと
まじでもさうさうさうさう
つまじでもさうさうさうさう
まじでもさうさうさうさう
まじでもさうさうさうさう
まじでもさうさうさうさう
まじでもさうさうさうさう

久々おをぢ大守



◎ それ
ついでに梅川が
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう

丸一年まじでもさうさう



大守 こと久々おのれごうしろふあつた大のその
梅川にやむくぶおのれひあつた

◎ それ
ついでに梅川が
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう
まじでもさうさう

正月三日のたふしひも平日の
くじで百あや二百あやの
さるも

あるや

さこれの

あつたやの

さあこののめ

入つたてみそ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ



あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ



あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ

あつたも百あ



甘飯と大はあや
すくしうけを大
すのをかり
くあんま

④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

大梅丸編

十六



①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳

大梅丸編

十六

第六段

あつとくやのひとむすめあそめ

松とくさるるを

母へおしやせんとしりおねあそめと

おねあそめのおへんあそめと

おねあそめのおへんあそめと

ふさのそとちりて

今の名のゆて

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ



おねあそめ

四

大みそりのゆき

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ



おねあそめ

ついでに梅川の

おねあそめ

おねあそめ



おねあそめ

六

おねあそめ

おねあそめ

おねあそめ

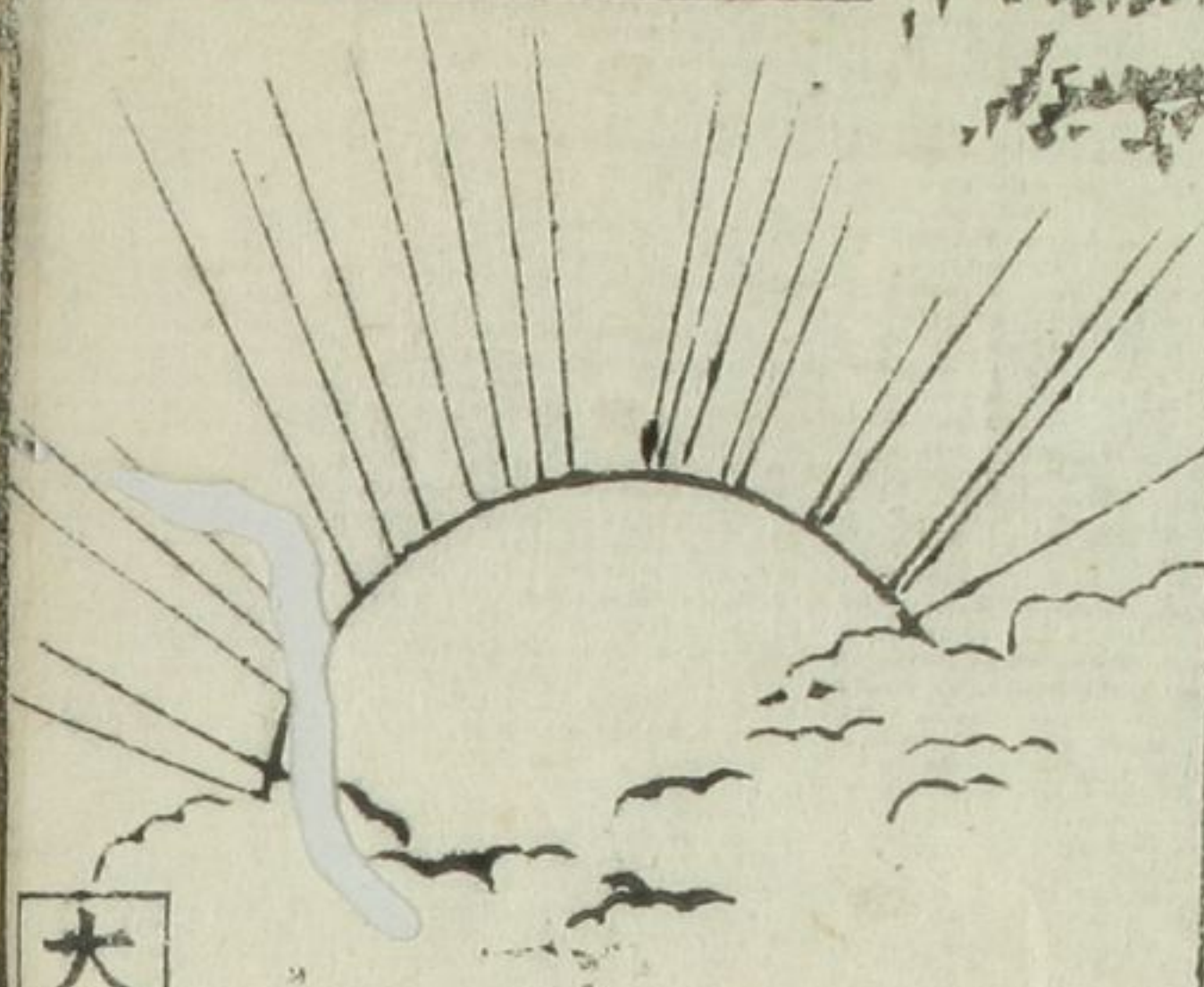
おねあそめ

おねあそめ

大晦日
あけ 草子十編上
 涼山作豊國画



京水



京山作
 豊國画

大晦日あけのざり九入下

かそめさめとりのあけのあつたさきまを
 ことまきあはれ梅川中まきけんと用ひのりまきり
 たまごあんもてしあひをふつときりけれは
 うめ川がちりやあそめがかわあふかりけり
 あそめあひのりうりたるたまさう林あしあ
 小けりされあひのりるもあまうりけり
 かままりが大ききひあまあたまあ
 あそめあひかきさきあけけれはあそめ
 のとの正かりとるけり大津もあまの
 あまがけりあまあひをさるるあまのり
 あまがけりあまあひをさるるあまのり
 うめ川あけとるあまをさるるあまのり
 とまきり
 大津がまあまあまのりあまのり
 うめ川あけとるあまのり

大みそり中十たを
 ひまつきさうりあまあまのり
 あまのりあまあまあまのり
 あまのりあまあまあまのり

あまのり

大晦日
編全二冊

弘化三丙午
初春新板



京山作

豊国画

上

鷺吉板

下





大晦日十編

大晦日 卅九段

大晦日 卅九段

きふ松とよのこゝて夜はまじつまで人の門をさ
あふ事よあゝんあゝん〜のまゝてあゝんあゝん
まゝあゝんあゝん〜のまゝてあゝんあゝん〜のまゝ
〜のまゝてあゝんあゝん〜のまゝてあゝんあゝん
五百年むくは兼好もあけそのあゝんあゝん〜のまゝ
れあけそのあゝんあゝん〜のまゝてあゝんあゝん〜
あゝんあゝん〜のまゝてあゝんあゝん〜のまゝ

弘化三丙午初春新板

山東庵京山

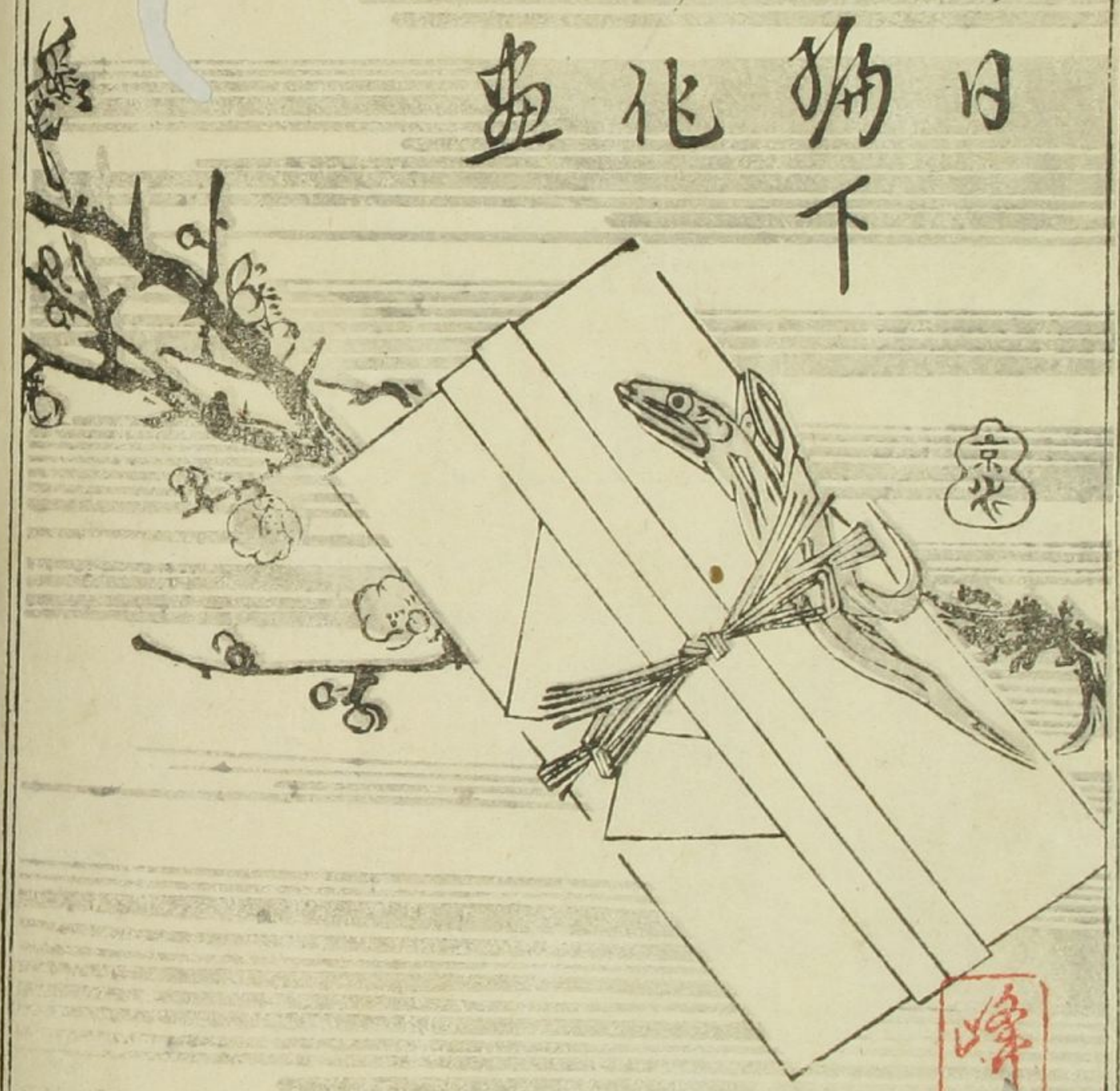


大晦日

十編下

京山化

有函並



又あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は



ついでに
ひ川のさる

あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は

あまの



あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は
あはれんりくきつてあをりまを
見るけいもささるるをたき下女は

娘か

大田日一



わろせの
 むとそつん
 なりんぞ
 なんぞ
 なんぞ

あひる

第一

あひるのうた
 第一

あひるのうた
 第一
 あひるのうた
 第一



わろせの
 むとそつん
 なりんぞ
 なんぞ
 なんぞ

あひる

下女

あひるのうた
 第一
 あひるのうた
 第一
 あひるのうた
 第一

①
 今のかたは下ゆき一
 ぶりはなちかきあな
 入の男あうい
 大田上

②
 今のかたは下ゆき一
 ぶりはなちかきあな
 入の男あうい



二

①
 今のかたは下ゆき一
 ぶりはなちかきあな
 入の男あうい

②
 今のかたは下ゆき一
 ぶりはなちかきあな
 入の男あうい



豊国画の京山作

又あまがさくともあらず
まうむくひ母人のみち
げてこれまはばさるり
とつこのるの母人を
あつひ母のみのみとを
あまふれ下やういり
りてまわまうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま

大晦日
曙草紙
十編上終



あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま



大晦日
曙草紙
十編下

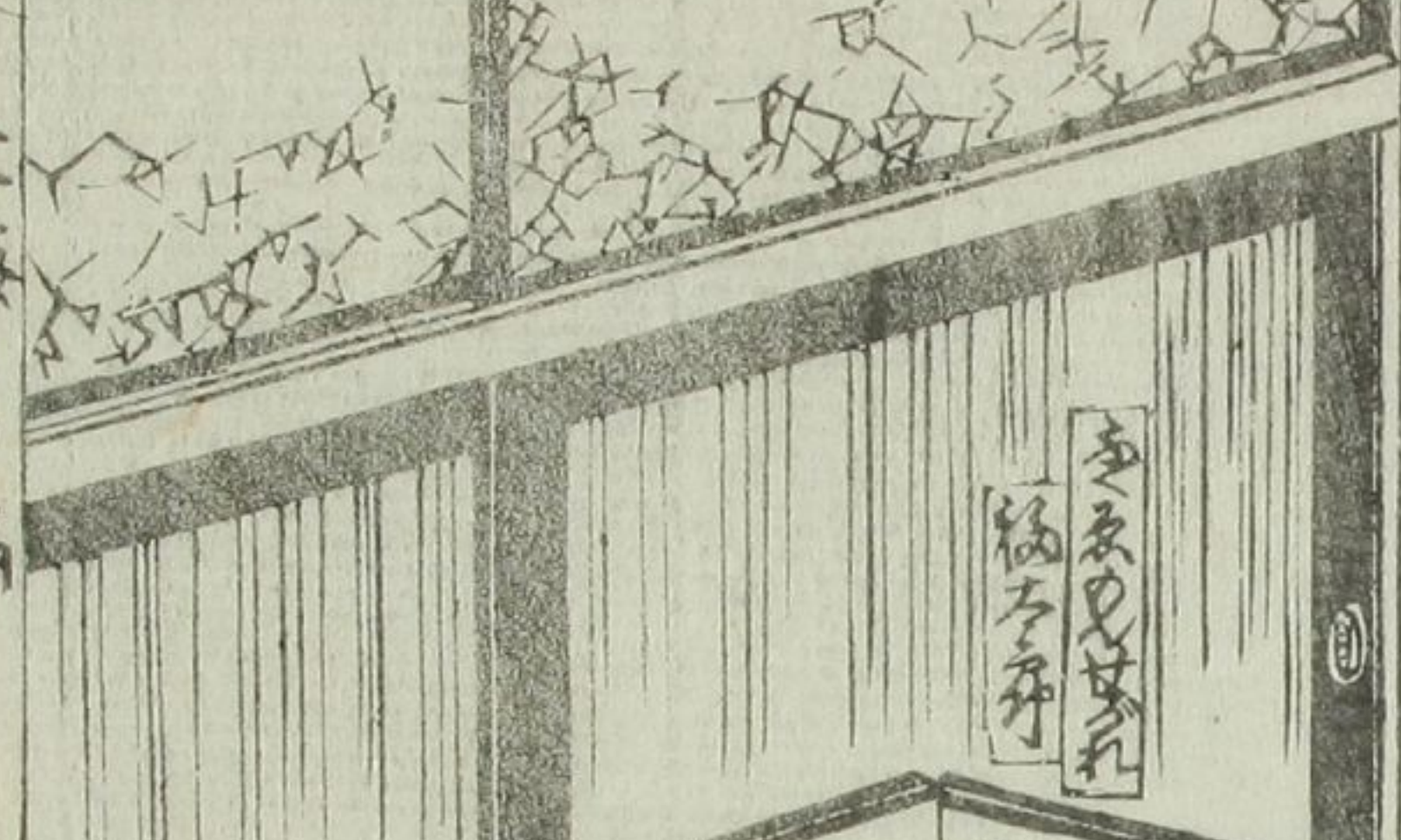


あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま

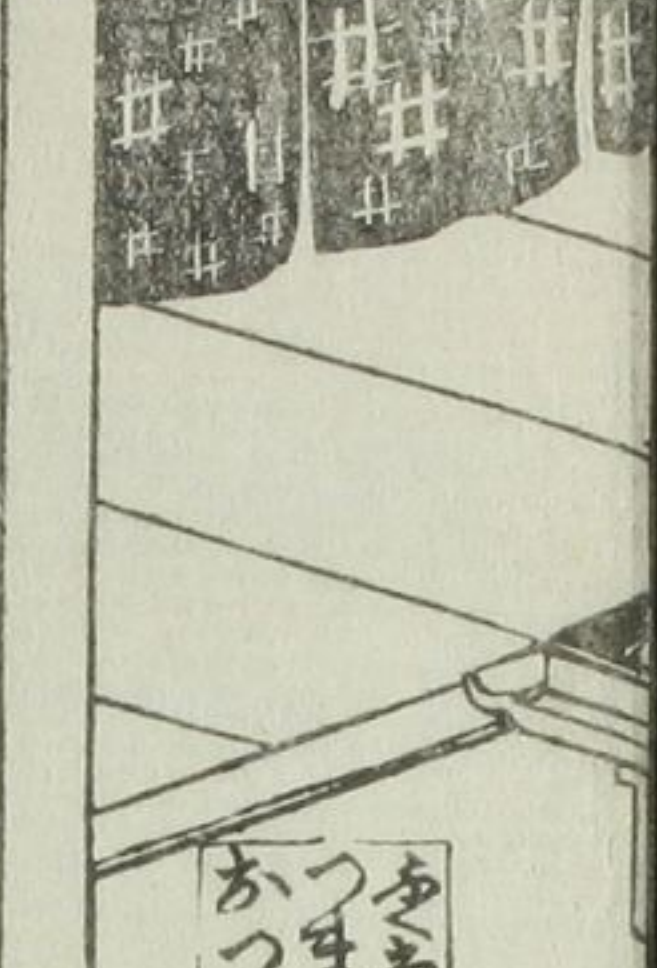
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま

あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま
あつひ母まうまうま

③ 久代
 ④ 久代
 ⑤ 久代
 ⑥ 久代
 ⑦ 久代
 ⑧ 久代
 ⑨ 久代
 ⑩ 久代
 ⑪ 久代
 ⑫ 久代
 ⑬ 久代
 ⑭ 久代
 ⑮ 久代
 ⑯ 久代
 ⑰ 久代
 ⑱ 久代
 ⑲ 久代
 ⑳ 久代
 ㉑ 久代
 ㉒ 久代
 ㉓ 久代
 ㉔ 久代
 ㉕ 久代
 ㉖ 久代
 ㉗ 久代
 ㉘ 久代
 ㉙ 久代
 ㉚ 久代
 ㉛ 久代
 ㉜ 久代
 ㉝ 久代
 ㉞ 久代
 ㉟ 久代
 ㊱ 久代
 ㊲ 久代
 ㊳ 久代
 ㊴ 久代
 ㊵ 久代
 ㊶ 久代
 ㊷ 久代
 ㊸ 久代
 ㊹ 久代
 ㊺ 久代
 ㊻ 久代
 ㊼ 久代
 ㊽ 久代
 ㊾ 久代
 ㊿ 久代



① 久代
 ② 久代
 ③ 久代
 ④ 久代
 ⑤ 久代
 ⑥ 久代
 ⑦ 久代
 ⑧ 久代
 ⑨ 久代
 ⑩ 久代
 ⑪ 久代
 ⑫ 久代
 ⑬ 久代
 ⑭ 久代
 ⑮ 久代
 ⑯ 久代
 ⑰ 久代
 ⑱ 久代
 ⑲ 久代
 ⑳ 久代
 ㉑ 久代
 ㉒ 久代
 ㉓ 久代
 ㉔ 久代
 ㉕ 久代
 ㉖ 久代
 ㉗ 久代
 ㉘ 久代
 ㉙ 久代
 ㉚ 久代
 ㉛ 久代
 ㉜ 久代
 ㉝ 久代
 ㉞ 久代
 ㉟ 久代
 ㊱ 久代
 ㊲ 久代
 ㊳ 久代
 ㊴ 久代
 ㊵ 久代
 ㊶ 久代
 ㊷ 久代
 ㊸ 久代
 ㊹ 久代
 ㊺ 久代
 ㊻ 久代
 ㊼ 久代
 ㊽ 久代
 ㊾ 久代
 ㊿ 久代



① 久代
 ② 久代
 ③ 久代
 ④ 久代
 ⑤ 久代
 ⑥ 久代
 ⑦ 久代
 ⑧ 久代
 ⑨ 久代
 ⑩ 久代
 ⑪ 久代
 ⑫ 久代
 ⑬ 久代
 ⑭ 久代
 ⑮ 久代
 ⑯ 久代
 ⑰ 久代
 ⑱ 久代
 ⑲ 久代
 ⑳ 久代
 ㉑ 久代
 ㉒ 久代
 ㉓ 久代
 ㉔ 久代
 ㉕ 久代
 ㉖ 久代
 ㉗ 久代
 ㉘ 久代
 ㉙ 久代
 ㉚ 久代
 ㉛ 久代
 ㉜ 久代
 ㉝ 久代
 ㉞ 久代
 ㉟ 久代
 ㊱ 久代
 ㊲ 久代
 ㊳ 久代
 ㊴ 久代
 ㊵ 久代
 ㊶ 久代
 ㊷ 久代
 ㊸ 久代
 ㊹ 久代
 ㊺ 久代
 ㊻ 久代
 ㊼ 久代
 ㊽ 久代
 ㊾ 久代
 ㊿ 久代



大田田十郎

大田田十郎

○月夜やのりごのこころをあらはにするけり
○これよりのもちあふれん人をもてうらふ考とん
あるす
あつちの川

第八段

よのことつふ女氏
るてむのこつふ女氏
さるるり町人百あつちの
りあつちのさるるるの
るあつちのさるるるの
のりあつちのさるるるの
るあつちのさるるるの
かくのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの



あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの

あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの



あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの
あつちのさるるるの

王名をひかきかき...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...



あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...



あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...

第九段

あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...

あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...



あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...

あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...



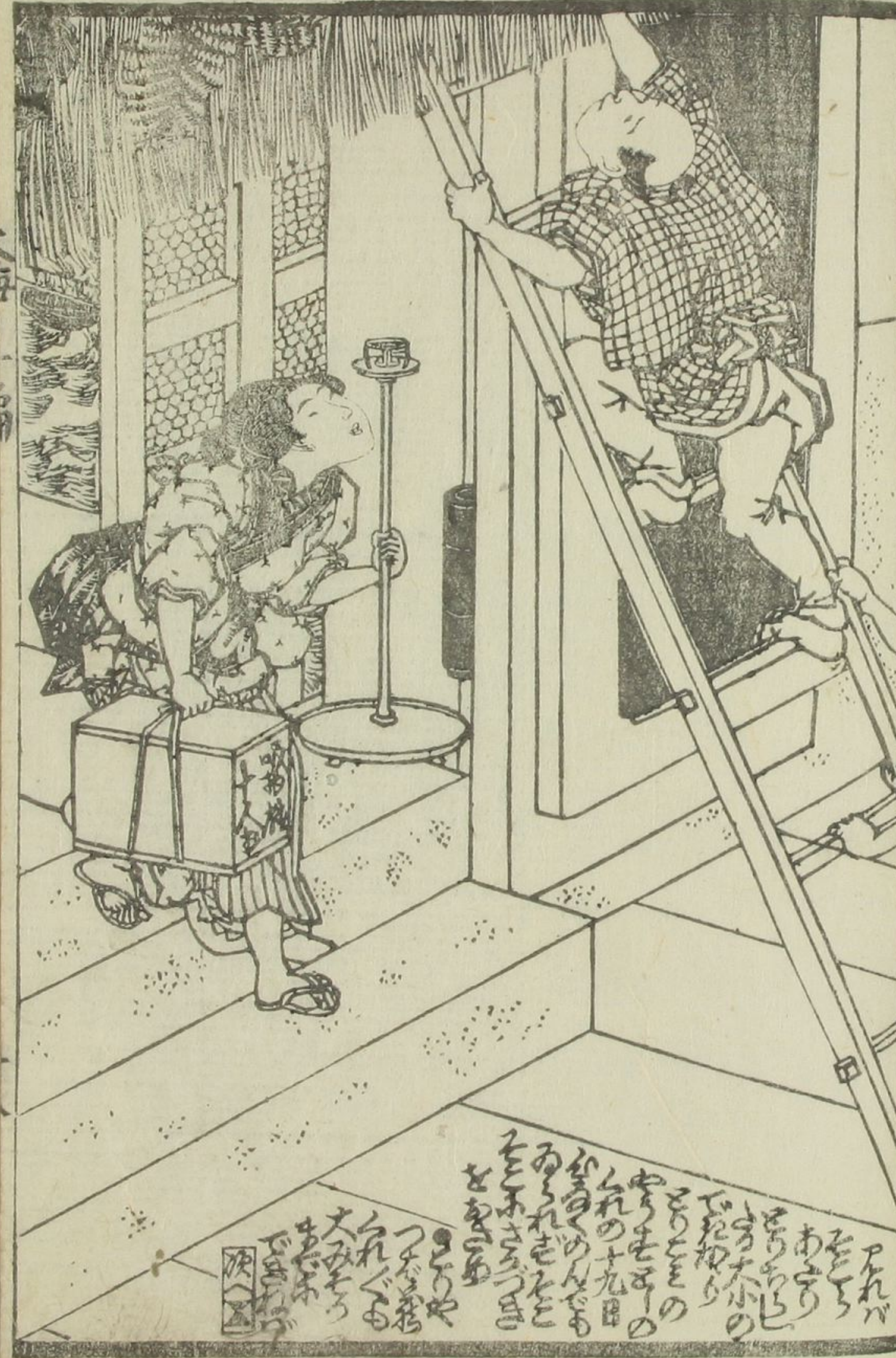
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...
あつちのあつち...

大田...
...

五月廿九日の...
...

とら

ついでに...
...



ア、それ...
...



①...
...

...

▲男はむらりけつらるのそふのあまづい
るされすまふさちとやちちとやちとよさ
へあ久るさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ

第十服

つをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま

女房
おさあ



③花子とむらりけつらるのそふのあまづい
人二アアアのめがむらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい
人をまらりけつらるのそふのあまづい

つをばりて入りあわねれがあま



▲男はむらりけつらるのそふのあまづい
るされすまふさちとやちちとやちとよさ
へあ久るさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ
さちとよさちとやちちとやちとよさ

つをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま
このつをばりて入りあわねれがあま

大田日十編

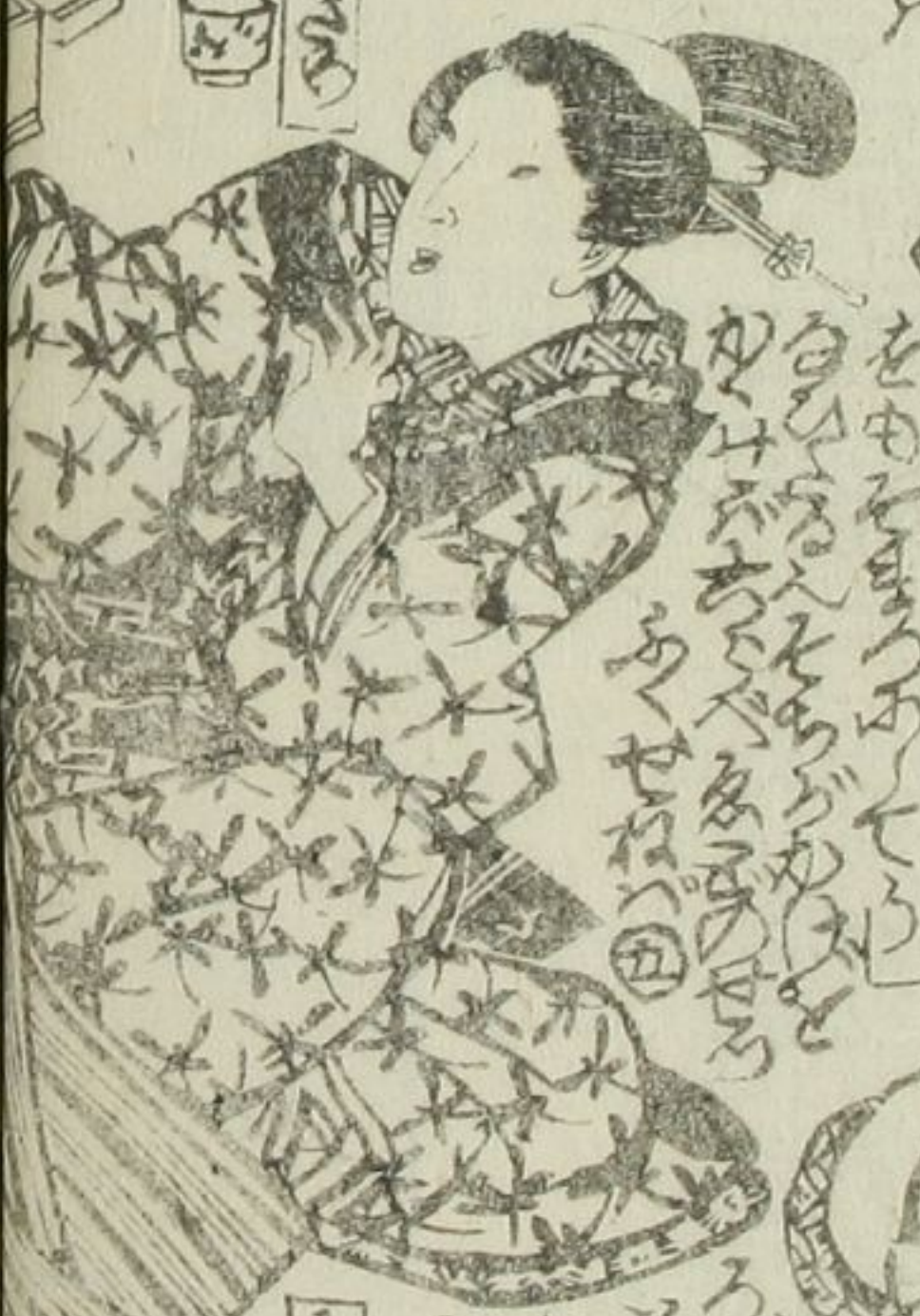
△らぶららぬといひてくのもめし下まぐ
はらまてたすふかどろだおだのまよ川よ
かけゆりもあめきせんことをいひて
おだのこらよ

その二

つをきいおめりんまの
まよ川あまの
のまよ川あまの
ついで下まめい
たぐくを
目ぬきのまよ川



あまのこらよをいひて
つをきいおめりんまの
まよ川あまの
のまよ川あまの
ついで下まめい
たぐくを
目ぬきのまよ川



あまのこらよをいひて
つをきいおめりんまの
まよ川あまの
のまよ川あまの
ついで下まめい
たぐくを
目ぬきのまよ川



あまのこらよをいひて

あまのこらよをいひて

あまのこらよをいひて

あまのこらよをいひて

あまのこらよをいひて
つをきいおめりんまの
まよ川あまの
のまよ川あまの
ついで下まめい
たぐくを
目ぬきのまよ川
あまのこらよをいひて
つをきいおめりんまの
まよ川あまの
のまよ川あまの
ついで下まめい
たぐくを
目ぬきのまよ川



大海日

あけぞの
曙草子

十一編

上巻

京山作

曲豆園画

若吉板



香蝶樓豊国画

下の巻



大晦日
十編
曙艸紙

山東菴京山作

葛
吉
版



弘化四丁未
新刻

巻の上



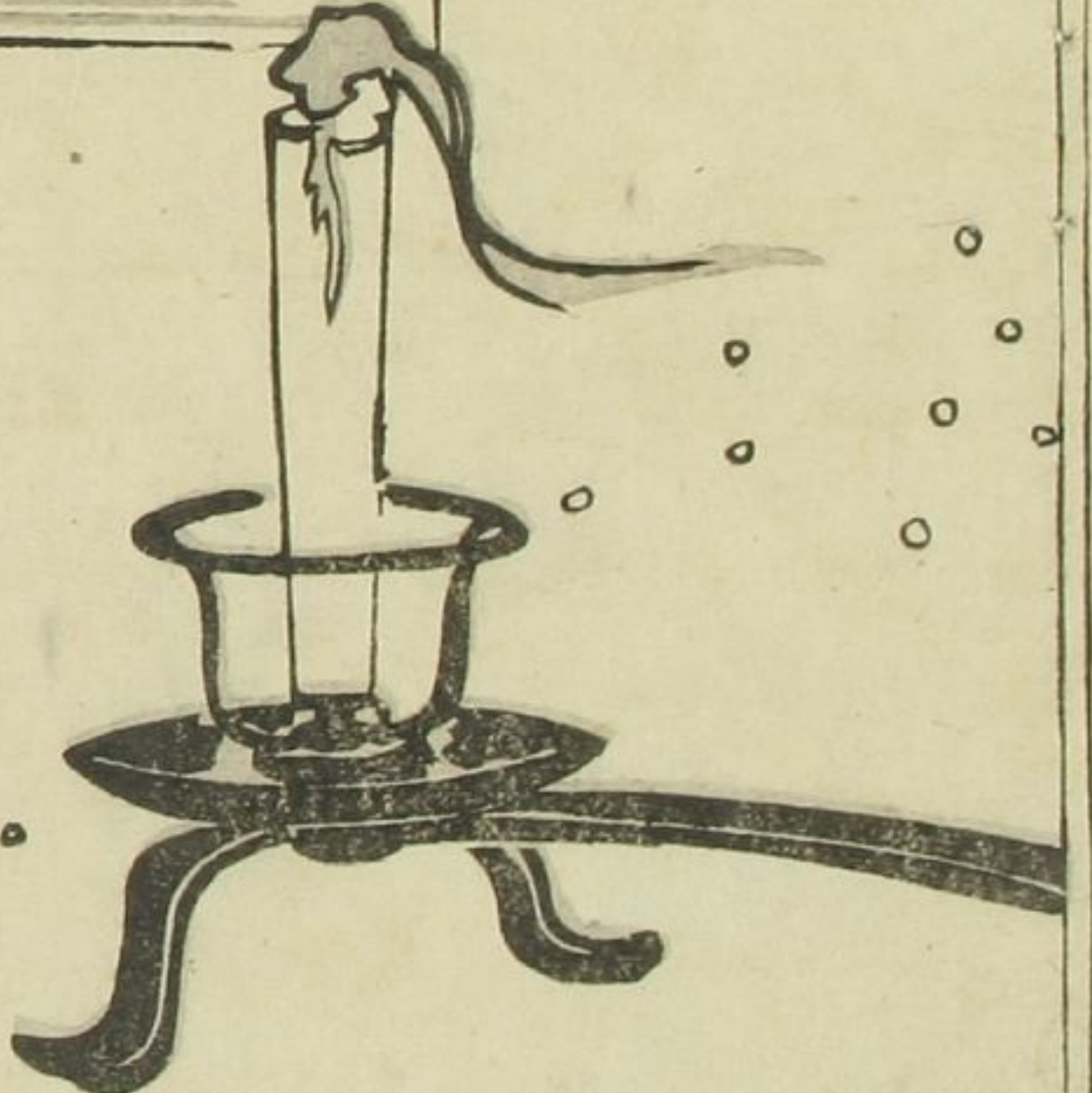
き
ぬら
現れ
あさ
と
後ま
の
子

京山

弘化三年
午春稿本
同丁未春新板

六
十
四

坊
不
み
け
う
あ
け
が
の
さ
し
十
一
巻
ん
下
の
ま
え



京
山

京
山

大晦日曙草子十一編発端

大晦日曙草子十一編発端

大晦日曙草子十一編発端



大晦日曙草子十一編発端



大晦日曙草子十一編発端

△大田日記
 川を渡るに舟を
 用ひて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を



②
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を

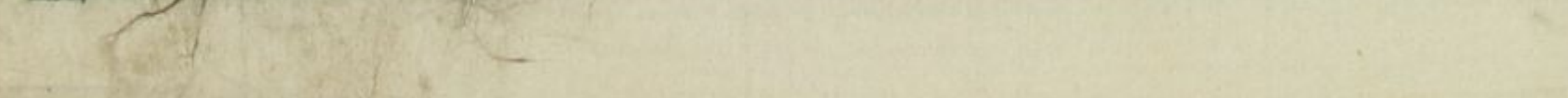
△大田日記
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を



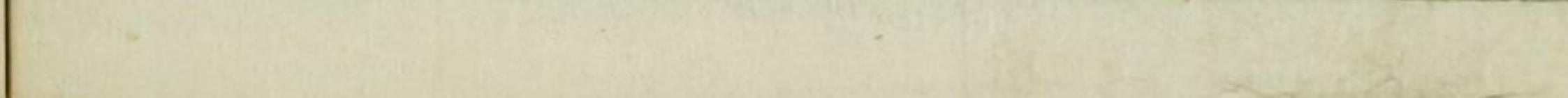
③
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を
 舟に乗りて舟を



かつらけつらつら内にて
 中上の人とてなまらむと申す
 其の小もやしとてそのたれ月夜
 ども人ゆきしひるまじりあけい
 ともも血まじりまぢくあけい
 たうい小のちのちのちのちのち
 名どつたあつたあつたあつた
 ありあるはけけと後をすへて
 五十のうへやゆきまじりあけい
 なりのあつたあつたあつたあつた
 小あつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 へいあつたあつたあつたあつた
 のへいあつたあつたあつたあつた
 りりりりりりりりりりりりりり
 あつたあつたあつたあつたあつた
 らけけけけけけけけけけけけけけ



酒や福あつたあつたあつたあつた
 せがれあつたあつたあつたあつた
 とてこつたあつたあつたあつた
 もあつたあつたあつたあつた
 はつたあつたあつたあつたあつた
 ありあつたあつたあつたあつた
 そのへいあつたあつたあつたあつた
 かまらつたあつたあつたあつたあつた
 二入下男三人をさもあつた
 かまらつたあつたあつたあつたあつた
 たりあつたあつたあつたあつたあつた
 かりあつたあつたあつたあつたあつた
 あつたあつたあつたあつたあつた
 のまあつたあつたあつたあつたあつた
 てもあつたあつたあつたあつたあつた
 久あつたあつたあつたあつたあつた



九月廿一日





ついでにふりかへるまの人のこゝろを
 たるものてふらふはこゝろ小あゆんをま
 へうだうをもちつたりやあつちをま
 まあやうとまうだんまらあつちをま
 こもあつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを
 さつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを

① ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 月夜やのあつちをまらあつちを
 そのあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを
 さつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを



わがこゝろをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを
 さつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを

かのおあがらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを
 さつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを
 さつちをまらあつちをまらあつちを
 ちの十八の十の中あつちをまらあつちを
 あつちをまらあつちをまらあつちを

△与二のやあまのめをいふもろのてやゆめあまを
 かきあちめて五つをいふのせよのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 母のあまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも



小者

あまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも

与二のやあまのめをいふもろのていひひんをうも



与二のやあまのめをいふもろのていひひんをうも

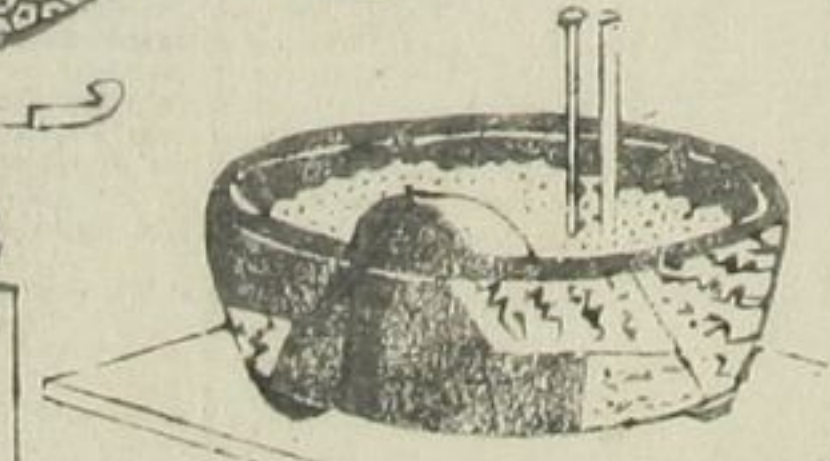
△とんてんをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも

あまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも

あまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも



あまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも



与二のやあまのめをいふもろのていひひんをうも

あまのめをいふもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも
 とすもろのていひひんをうも



△びんちんはけしきいさるの目め
とあれとあつらるるの玉のちり
とむらておちり
△びんちんはけしきいさるの目め
とあれとあつらるるの玉のちり
とむらておちり

小ま

与二

△ひらりあがり
が月あまひべのま
中かあひさし
いちふいり
いとくま



与二

△ひらりあがり
が月あまひべのま
中かあひさし
いちふいり
いとくま

与二

△ひらりあがり
が月あまひべのま
中かあひさし
いちふいり
いとくま

△さんくわは口の末を
ひらきききききききき
ひらきききききききき

でんへき

与三米

ひらが

てあき

まき

まき

まき

まき

まき

まき



① へつけいりつまで
借るるるるるるるるる
与三米きききききき
あきあきあきあき

④ さんききききき
でんへききききき
あきあきあきあき
まきまきまきまき

かどはて

そのあき

まき

まきまきまきまき
あきあきあきあき
まきまきまきまき



△さんくわは口の末を
ひらきききききききき
ひらきききききききき
まきまきまきまき
あきあきあきあき

与三

まき

あきあきあきあき
まきまきまきまき
あきあきあきあき

まきまきまきまき
あきあきあきあき
まきまきまきまき
あきあきあきあき

⑤

まき

土間の川の川をたのむ
 月ふし月ふし月ふし
 されんされん母人ゆの
 けいことやめをあめも
 さるひさすあめあめ
 えいひさすあめあめ
 そのあめあめあめあめ
 おやのあめあめあめ
 のあめあめあめあめ
 あめあめあめあめあめ
 おあめあめあめあめ
 ちんあめあめあめあめ
 つあめあめあめあめ
 さらぬあめあめあめ
 るあめあめあめあめ
 土間の川の中ひあめあめ



土間の川の川をたのむ
 月ふし月ふし月ふし
 されんされん母人ゆの
 けいことやめをあめも
 さるひさすあめあめ
 えいひさすあめあめ
 そのあめあめあめあめ
 おやのあめあめあめ
 のあめあめあめあめ
 あめあめあめあめあめ
 おあめあめあめあめ
 ちんあめあめあめあめ
 つあめあめあめあめ
 さらぬあめあめあめ
 るあめあめあめあめ
 土間の川の中ひあめあめ

土間の川の川をたのむ
 月ふし月ふし月ふし
 されんされん母人ゆの
 けいことやめをあめも
 さるひさすあめあめ
 えいひさすあめあめ
 そのあめあめあめあめ
 おやのあめあめあめ
 のあめあめあめあめ
 あめあめあめあめあめ
 おあめあめあめあめ
 ちんあめあめあめあめ
 つあめあめあめあめ
 さらぬあめあめあめ
 るあめあめあめあめ
 土間の川の中ひあめあめ



土間の川の川をたのむ
 月ふし月ふし月ふし
 されんされん母人ゆの
 けいことやめをあめも
 さるひさすあめあめ
 えいひさすあめあめ
 そのあめあめあめあめ
 おやのあめあめあめ
 のあめあめあめあめ
 あめあめあめあめあめ
 おあめあめあめあめ
 ちんあめあめあめあめ
 つあめあめあめあめ
 さらぬあめあめあめ
 るあめあめあめあめ
 土間の川の中ひあめあめ



おん八考のツツきあひてん

うけをかくまもあまのちりふらふ

のたさもでもさうのり

うるさうとく人ゆ

あるまんとあつ

がなをいひあつ

花やのめさう

たうのめさう

たうのめさう

たうのめさう

母



その二

はつとあひのせふとあひのせふ

あひのせふとあひのせふ

あひのせふとあひのせふ

あひのせふとあひのせふ



丹一又五... (Vertical text block at the top left of the page)
 丹一又五... (Vertical text block at the top left of the page)

下男... (Vertical text block at the bottom left of the page)
 下男... (Vertical text block at the bottom left of the page)



廿九... (Vertical text block at the top of the right page)
 廿九... (Vertical text block at the top of the right page)

吉野... (Vertical text block at the bottom of the right page)
 吉野... (Vertical text block at the bottom of the right page)

大正... (Marginal text on the left edge of the left page)

廿... (Marginal text on the right edge of the right page)



大晦日あけ不乃
 さくさく十二屋ん
 上のよき
 弘化四と歩下末
 新美

京水



二月廿二日...
 大晦日あけ不乃...
 豊國産...
 考吉寿様...

大晦日あけ不乃... 豊國産... 考吉寿様...

大晦日
暎
東山
是
十編下

大晦日
曙草紙
京山作
豊國画
十編上

大ニ云々

あけ本社

きき

十二編

下乃巻



策暮忽作

未^マ握^ラ門^ノ松^ノ穴^ノ先^ノ関^ノ煤^ノ掃^ノ音^ノ
金^ノ随^テ貨^ノ餅^ノ走^リ豆^ノ入^リ福^ノ茶^ノ沈^ム
幸^ニ内^ニ無^ク餘^リ日^ノ世^ノ間^ノ多^ク借^リ金^ノ
空^ニ々^々待^ツ正^ノ月^ノ却^テ羨^ム子^ノ供^ノ心^ノ

児曹の玩冊といふも序文あるやうなもので、文運の盛るる餘韻ありと云ふは、おのひつれど、要するもつゝ、そのりふあり、待冊と探りて二冊乃、序言ふ代る弘化三年丙午仲夏稿本同初冬上梓して丁未の春の彩板とす

京山人

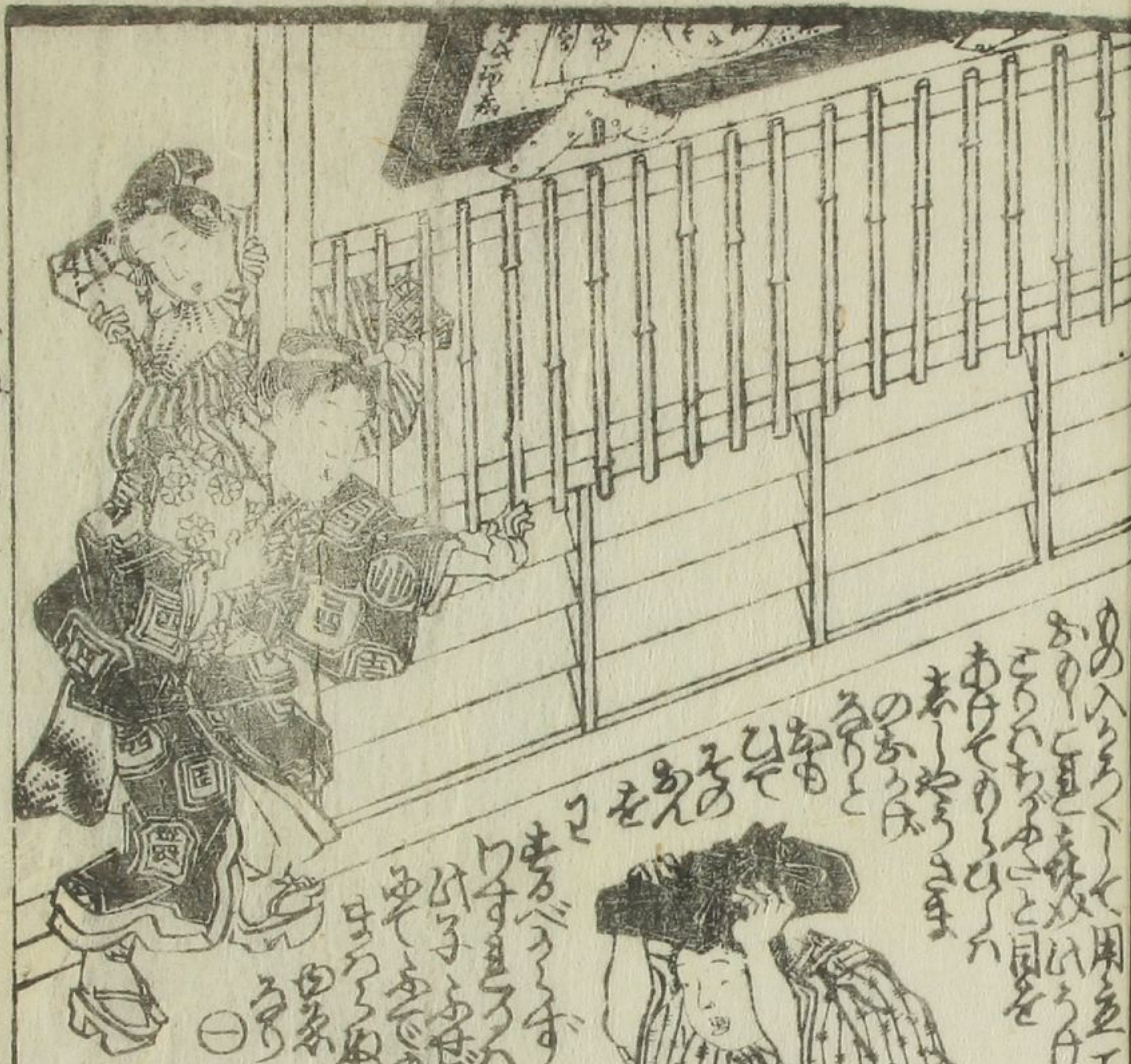


一

上編目十二

大晦日あけがらのさしし十二へんやうえん

あけがら町へそ中々おのろすすあめ
ふどもよけのまふけの女の子のあけ
くろい終るまふせんをどりあけ
まふらひひまがたあけいけあけ
あけかまふらまどりのあけあけ
こまのあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ



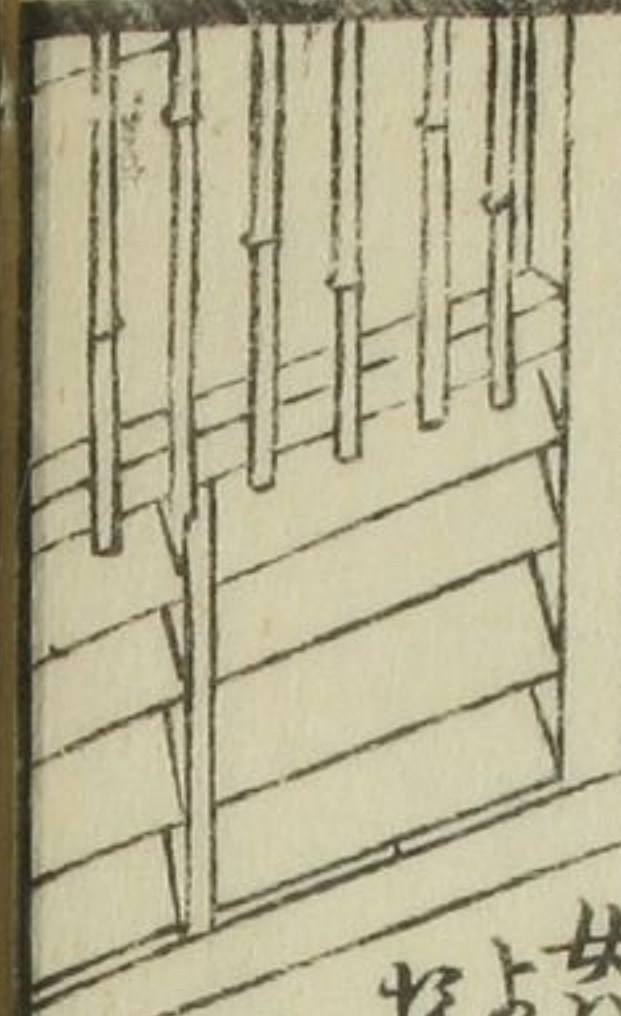
大晦日



下の
まふら
せり



あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ



あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ

あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ
あけあけあけあけあけあけ



①
 水衣
 の
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿



小
 子
 の
 遊
 び
 場
 ①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿

①
 ②
 ③
 ④
 ⑤
 ⑥
 ⑦
 ⑧
 ⑨
 ⑩
 ⑪
 ⑫
 ⑬
 ⑭
 ⑮
 ⑯
 ⑰
 ⑱
 ⑲
 ⑳
 ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔
 ㉕
 ㉖
 ㉗
 ㉘
 ㉙
 ㉚
 ㉛
 ㉜
 ㉝
 ㉞
 ㉟
 ㊱
 ㊲
 ㊳
 ㊴
 ㊵
 ㊶
 ㊷
 ㊸
 ㊹
 ㊺
 ㊻
 ㊼
 ㊽
 ㊾
 ㊿

二つりあどとつげいれ日があ
 らうありまうていけあちさう
 小のりまうことたれどちんちやど
 りせり・大七・おしすめどちと
 ちんちやあむさうあむさうけい
 ぬりあれとのりあむさう
 つねるるさうけい

その二
 かや活へまがえんたうな七の
 小なるうかてへあつてひき
 まゆめ小なるあて「まゆめ活
 どの」ひきまあつてあつてあむさう
 へあつてあつてあつてあつてあ
 ちんちやあむさうあむさうけい
 ぬりあれとのりあむさう
 つねるるさうけい

日ごとつてあむ
 由多右の金
 子のこころり
 有ふかりてあ
 ま「のりま
 それもさう
 用ある
 ちんちや
 あむさう
 ぬりあれ
 とのりあ
 むさうけい



四のあむさう
 むくせうとあ
 あむさう
 それとあむさ
 むさうけい
 むさうけい
 あむさう
 むさうけい
 むさうけい



一のあむさう
 たつてあむ
 あむさう
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい

二のあむさう
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい
 むさうけい

あつてゐる... 小太夫... 竹... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下...



この二... 竹... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下...

あつてゐる... 小太夫... 竹... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下...



この二... 竹... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下... 母の... 下...

十二味菜ありのこのまあり...
先二袋百二十元...
のるを白く...
つやとれまあり...
不のあわれなり...

下女の
ひよの
ひよの



▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...



▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...

▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...
▲赤児りあつた
あくぬれは...
つはてえは...

ほろろ

又たうぢ
と名をかき治
けたまそつらつらふて
ておぢり人のたし
けつるかんるなるを
才七段

さる不どふさつりのだんる
たぢりつらつらふて
おぢり人のたし
けつるかんるなるを
才七段
さる不どふさつりのだんる
たぢりつらつらふて
おぢり人のたし
けつるかんるなるを
才七段



あつらふつらつらふて
はやへいそぎけり

その二

かきやとらふ

③てうぢつける
むらひの男をせ
くりたんる
さまたのむさつらつら
ゆあつらつらつらつら
二丁のかさつらつら
せがよむかりだの
さつらつらつらつら
まつらつらつらつら
さつらつらつらつら
たつらつらつらつら
あつらつらつらつら
はつらつらつらつら
おつらつらつらつら
なつらつらつらつら
せつらつらつらつら





中央よわあそえ
あつとん母が
あつてきこ
わらう
まま
まもどつや
つりやとれ行へ源
お七がねまてに
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを

お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ



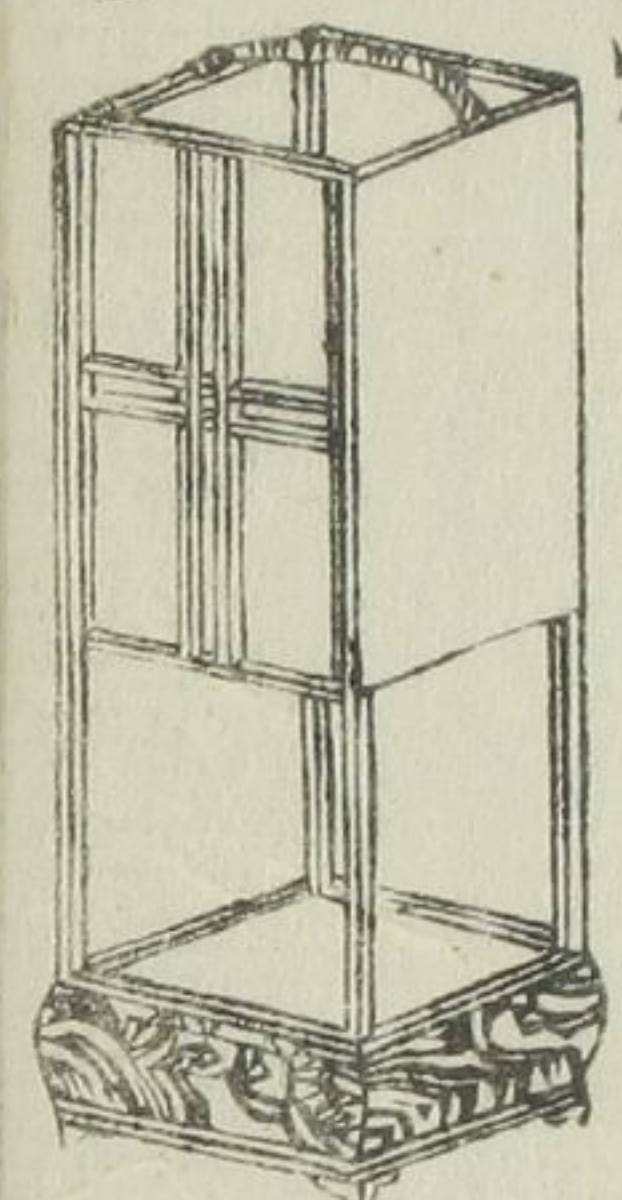
(二) あつて
あつてきこ
わらう
まま
まもどつや
つりやとれ行へ源
お七がねまてに
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを
お七は竹あそえを

お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ
お七は竹あそえ

治へおとせこれに女のあて中て、ああり
 ぬきりふゆそでのつらむもつらむもむす
 中をよめふそめま、九月のうらむいよ小ま
 とありそのゆゆもあめある原葉がむすめ
 るまふふとあひひてまふふたふければ
 これなるたなるあひひてまふふたふければ
 月楼とあまふふたふければ
 せつらんあまふふたふければ
 多ひまふふたふければ
 よひあふふたふければ
 人まふふたふければ
 うまふふたふければ
 ませのまふふたふければ

九月九日

十月廿日のおびまこころまふふたふければ
 うまふふたふければ
 十月廿日のおびまこころまふふたふければ
 うまふふたふければ
 十月廿日のおびまこころまふふたふければ
 うまふふたふければ



お竹



お七

ちやたをこがんあり
 あひのちやたをこがんあり
 さそふあひのちやたをこがんあり
 つひるそのあひのちやたをこがんあり
 あひのちやたをこがんあり
 けいふこがんあり
 大十九の上大人
 ちやたをこがんあり
 まふふたふければ
 らぬあひのちやたをこがんあり
 上人
 せんけ
 こがんあり
 あとを
 つねに
 るまふふたふければ
 らぬあひのちやたをこがんあり
 のちやたをこがんあり
 るまふふたふければ
 ちやたをこがんあり

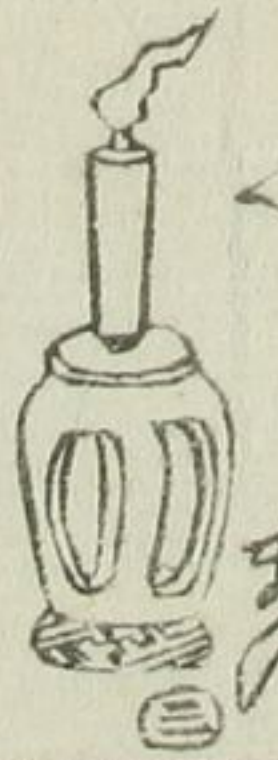
たくおとせこれに女のあて中て、ああり
 ぬきりふゆそでのつらむもつらむもむす
 中をよめふそめま、九月のうらむいよ小ま
 とありそのゆゆもあめある原葉がむすめ
 るまふふとあひひてまふふたふければ
 これなるたなるあひひてまふふたふければ
 月楼とあまふふたふければ
 せつらんあまふふたふければ
 多ひまふふたふければ
 よひあふふたふければ
 人まふふたふければ
 うまふふたふければ
 ませのまふふたふければ



おの

お七

ちやたをこがんあり
 あひのちやたをこがんあり
 さそふあひのちやたをこがんあり
 つひるそのあひのちやたをこがんあり
 あひのちやたをこがんあり
 けいふこがんあり
 大十九の上大人
 ちやたをこがんあり
 まふふたふければ
 らぬあひのちやたをこがんあり
 上人
 せんけ
 こがんあり
 あとを
 つねに
 るまふふたふければ
 らぬあひのちやたをこがんあり
 のちやたをこがんあり
 るまふふたふければ
 ちやたをこがんあり



かきとほし... 二日... 三日... 四日... 五日... 六日... 七日... 八日... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日... 三十一日... 三十二日... 三十三日... 三十四日... 三十五日... 三十六日... 三十七日... 三十八日... 三十九日... 四十日... 四十一日... 四十二日... 四十三日... 四十四日... 四十五日... 四十六日... 四十七日... 四十八日... 四十九日... 五十日... 五十一日... 五十二日... 五十三日... 五十四日... 五十五日... 五十六日... 五十七日... 五十八日... 五十九日... 六十日... 六十一日... 六十二日... 六十三日... 六十四日... 六十五日... 六十六日... 六十七日... 六十八日... 六十九日... 七十日... 七十一日... 七十二日... 七十三日... 七十四日... 七十五日... 七十六日... 七十七日... 七十八日... 七十九日... 八十日... 八十一日... 八十二日... 八十三日... 八十四日... 八十五日... 八十六日... 八十七日... 八十八日... 八十九日... 九十日... 九十一日... 九十二日... 九十三日... 九十四日... 九十五日... 九十六日... 九十七日... 九十八日... 九十九日... 百日...



① 絲のたうたのをかま... ② ③

大坂日記... 一日... 二日... 三日... 四日... 五日... 六日... 七日... 八日... 九日... 十日... 十一日... 十二日... 十三日... 十四日... 十五日... 十六日... 十七日... 十八日... 十九日... 二十日... 二十一日... 二十二日... 二十三日... 二十四日... 二十五日... 二十六日... 二十七日... 二十八日... 二十九日... 三十日... 三十一日... 三十二日... 三十三日... 三十四日... 三十五日... 三十六日... 三十七日... 三十八日... 三十九日... 四十日... 四十一日... 四十二日... 四十三日... 四十四日... 四十五日... 四十六日... 四十七日... 四十八日... 四十九日... 五十日... 五十一日... 五十二日... 五十三日... 五十四日... 五十五日... 五十六日... 五十七日... 五十八日... 五十九日... 六十日... 六十一日... 六十二日... 六十三日... 六十四日... 六十五日... 六十六日... 六十七日... 六十八日... 六十九日... 七十日... 七十一日... 七十二日... 七十三日... 七十四日... 七十五日... 七十六日... 七十七日... 七十八日... 七十九日... 八十日... 八十一日... 八十二日... 八十三日... 八十四日... 八十五日... 八十六日... 八十七日... 八十八日... 八十九日... 九十日... 九十一日... 九十二日... 九十三日... 九十四日... 九十五日... 九十六日... 九十七日... 九十八日... 九十九日... 百日...



④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

弘化四丁末初春新板目錄

大晦日曙艸紙

十編冊 山東庵京山作
十編冊 歌川豊國画

戲作花赤本世更

二編冊 式亭小三馬作
歌川豊國画

近郷道中膝栗毛

初編ヨ 爲永春水作
八編ヨ 溪齋英泉画
出来近刻新板賣出

菊酒屋娘庭訓

四編冊 山東庵京山作
五編冊 歌川豊國画

東都地本錦繪板元

南傳馬町壹丁目
首烏屋吉藏

俗稱 京山作
正月十四日よりこれ
より十五日までの
夜まであつちよ
おてらうの金魚のつとむあつちよ
なんたらあつちよのあつちよ
活き魚小なるものあつちよ
とまるあつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ



大晦日十二元どろり

俗稱 豊國画
首造

歴世女装考 五冊 京山作
はまの風俗のうらみなど古ふりてまを
女の風俗のうらみなど古ふりてまを
古風をうらみなど古ふりてまを
近世風俗のうらみなど古ふりてまを

○ 出板社外
大晦日十三
おてらうの金魚
なんたらあつちよ
活き魚小なるもの
とまるあつちよの
あつちよのあつちよ
あつちよのあつちよ

弘化三丙午初春新板目錄

大晦日曙草紙おひろひのあけぼののくさ九編二冊九編二冊山東庵京山作

戲作花赤本世畧あそびのなまのほん全二冊全二冊歌式亭小三馬作

道郷道中膝栗毛みちのくにのちゆうかた初編二冊初編二冊為永春水作

三勝半七雨長屋濡洞さんしょうはんしちあまのながやぬま全三冊全三冊墨川亭雪麿作

菊酒屋娘庭訓きくやのむすめ三編二冊三編二冊山東庵京山作

東都地本錦繪板元とうとうぢほんにしんえいばんげん南傳馬町壹丁目なんでんばまちいちぢょうめ葛屋吉藏



峰文



